



公益財団法人 高知県国際交流協会

2011 世界の笑顔集まれ!



WINDOW

協会設立 20周年特別号

2011
No.54

WINDOW
協会設立20周年
特別号
目次

ごあいさつ

公益財団法人 高知県国際交流協会 代表理事 …… 1

協会設立20周年記念 …………… 2

国際ふれあい広場2010 …………… 3

協会20年の歩み(年表) …………… 4・5

～事業別記録～

国際協力・交流推進事業 …………… 6・7

受入・派遣事業 …………… 8・9

情報提供事業 …………… 10

ボランティア育成・登録事業 …………… 11

多文化共生事業 …………… 12・13

～Information Board～ …………… 14

高知県文化環境功労賞受賞
(南国市国際交流協会)

民間国際交流団体紹介
(高知県フラ協会)

土佐弁ミュージカル2011のご案内

「設立20周年を迎えて」



高知県国際交流協会は、「世界に開かれた高知」の実現や、国際感覚に富む「国際土佐人」の育成などを目的として、平成2年11月に、高知県・県内各市町村・民間企業などの支援を受けて財団法人として設立されました。

設立以来20年、草の根レベルの国際交流や多文化共生事業、また産業・経済・情報などの多方面な分野において国際交流・協力活動を積極的に実施してまいりました。

また近年では、南海地震などの大規模災害時に在住外国人のための通訳・翻訳ができる語学ボランティアの育成や、今後増加が見込まれる中国・台湾や韓国など、東南アジアからの観光客に対応するための国際観光ボランティアガイドの養成など、新しい時代に対応した事業にも力をいれています。

昨年9月28日には、高知県内の財団法人としては公益財団法人移行第1号となり、協会設立20周年の節目の年に、「公益財団法人 高知県国際交流協会」として新たに生まれ変わりました。

また、昨年10月には、協会設立20周年及び公益財団法人移行を記念して、俳優・紺野美沙子氏の記念講演会のほか、パネル展・物産販売等のイベントを実施し、多くの県民の皆様にご参加いただき成功を収めることができました。この場をおかりしまして、改めてお礼申し上げます。

これからも、「世界に開かれた高知の実現」と、「国際土佐人」の育成、多文化共生社会の推進に向け、力を尽くしてまいりますので、県民の皆様方には今後ともご指導、ご協力をお願い申し上げます。

平成23年3月

公益財団法人 高知県国際交流協会
代表理事 橋井 昭六

国際ふれあい 広場 2010

高知県国際交流

「国際協力の日※」を記念して、県民の皆様の国際協力に対する理解を深めてもらうとともに、国際ボランティア活動への参画のきっかけづくりを目的に、10月16日(土)、17日(日)の2日間、高新RKCホール、ひろめ市場イベント広場で「国際ふれあい広場2010」を開催しました。

※「国際協力の日」:1954年10月6日、日本政府はコロンボ計画への加盟を閣議決定し、開発途上国に対する政府開発援助(ODA)を開始。1987年、閣議了承により10月6日が「国際協力の日」と定められた。



俳優・紺野美沙子さんの講演

10月16日(土)には高新RKCホールで、当協会設立20周年を記念して、俳優で国連開発計画(UNDP)親善大使を務められている紺野美沙子さんを講師としてお招きし、講演会を開催しました。

紺野さんは、テレビ、映画、舞台などで俳優として活躍される一方、1998年には国連開発計画(UNDP)親善大使に任命され、カンボジア、パレスチナ、ブータン、ガーナ、東ティモール、ベトナム、モンゴル、タンザニアなどの国々を公式訪問されています。

紺野さんには、「国連開発計画(UNDP)親善大使として見たこと、感じたこと」と題して講演していただきました。講演では、7年前に訪れたガーナでエイズで親を亡くした孤児を一世帯当たり6人引き取って育てている女性団体の話などを紹介され、「地域の助け合いの心を日本は失いかけているが、ガーナを見習わなければならない。」「自分や家族、知人だけでなく、見知らぬだれか第三者にも思いやりの心を持つことが大切。」など、ご自身の体験に基づく貴重なお話をしていただきました。

会場に詰めかけた約250名の方も、普段テレビでしか見ることのできない紺野さんの新たな一面を見ることができたと、好評のうちに幕を閉じました。



ひろめ市場でのイベント

17日(日)には、当協会を含む県内国際交流・協力団体9団体と共催団体のJICA四国がひろめ市場イベント広場に出展し、国際協力・国際交流パネル写真展、開発途上国の民芸品展示販売会、JICAボランティア相談会などを実施し、県内における国際ボランティア活動について多くの県民の皆様に理解していただくことができました。

☆出展10団体(順不同)☆

特定非営利活動法人アジア文化交流会、中国帰国者の会、高知SGG善意通訳クラブ、グアテマラ生産者支援ネットワーク「みるぼ」、特定非営利活動法人Brain、アジア・僻地医療を支援する会、高知県青年海外協力隊OB会、奥村多喜衛協会、国際協力機構四国支部(JICA四国)、高知県国際交流協会

協会設立20周年記念

国際土佐っ子メッセージ(中学生による弁論大会)

「国際ふれあい広場2010」事業の一環で行われた国際土佐っ子メッセージには県内の中学生11人が参加し、日ごろ感じている世界平和や国際貢献などについて意見を発表しました。発表者全員がそれぞれの経験や思いなどを述べる堂々とした素晴らしい意見発表でしたが、次の4名の方に賞状及び副賞が贈呈されました。



大賞：吉岡大将さん(大野見中学校3年)

優秀賞：北村友沙さん(越知中学校2年)、橋田彩乃さん(土佐塾中学校1年)

審査員特別賞：和田耀史さん(土佐塾中学校2年)

最も優れた発表として大賞を受賞された吉岡大将さんの発表文全文を紹介します。

メッセージタイトル：「本当の豊かさ」

大野見中学校 3年 吉岡 大将

豊かな国 日本。僕は、この国で生まれ、今も生活している。買い物に行けば手に入らないものはなく、インターネットを使うと、ワンクリックで買うことさえできる。休みの日には、服を買い、家族で夕食を食べて帰って来ることもある。僕にとってそれは普通の生活だ。しかし、それが普通ではない国もある。

それは、メキシコ。父の仕事で、小学校4年生から6年生までの3年間、僕が過ごした国だ。首都メキシコシティは、アメリカ系の大きなショッピングモールや、お城かと間違えるほどの家も立ち並ぶ大都市だ。一方、郊外へと離れると、質素な家や、舗装されていない道路が多いスラム街もある。それだけ、貧富の差が激しい国だ。

街では、信号機で止まるごとに、子どもたちが、ガムを売ったり芸をしたり、車の窓を磨いている姿が目に入る。僕はそれまで「ストリートチルドレン」と言う言葉を知らなかった。メキシコでは、貧しさから、精神的に追い詰められた親が、子どもに暴力をふるうため、子どもたちは田舎からメキシコシティに家出し、駅の構内や路上で過ごすのだそうだ。6年生の夏、ぼく達家族は、メキシコのストリートチルドレンを支えるNGO団体の、あるジャーナリストとの出会いがあった。

その方を通して、ぼく達家族は「パリス」という、3才から12才までの男の子ばかりいる施設を訪問した。一緒にサッカーをしたり、折り紙やおにぎり作りをしたりした。みんなとても楽しそうだと思うと、喧嘩が始まるし、ぼく達と全く変わ

らない心を持っていると思った。

何度目かの訪問で、僕たちは「メルカド」というメキシコの市場へ出かけた。メルカドに着くと子どもたちは、施設の先生に5ペソ、日本円で約50円ずつもらい、ジュースやお菓子など、思い思いの物を買いはじめた。すると、それを見ていた僕たちの所へ、買い物を終えた5才の男の子が近づいてきた。その子は3つ入りのガムを「一つどう?」と僕に差し出してきた。めったにもらえない5ペソで買った3つのガムを、僕と分けて食べようというのだ。物やお金はなくても、優しさにあふれているこの子の「心の豊かさ」に、僕ははっとさせられた。

メキシコから帰ってきて3年目の今年の夏、母が研修でネパールに行っていた。ネパールは、アジアでも最貧国と言われていて、お風呂でお湯が出る家の方が珍しいそうだ。母が訪問した田舎の小学校は、黒板とチョークだけしかなかったが、みんな真剣に勉強し、笑顔で歓迎してくれたという。ネパールの子供達もきっと、家族や友達を思いやり、物がなくても幸せに生きることができる「心の豊かさ」を持っているのだらうと想像した。

豊かな国で生まれた僕が、物やお金が少ない国の子どもたちから「本当の豊かさ」について気づかされた。物の豊かさに満足し、まだ気づいていない周りの人達に、ぼくは、できるだけ多く、彼らのことを伝えていきたい。そして、僕に教えてくれた彼らと、本当の意味で、共存・共生できる世界になるよう僕にできることを、これからも考えていきたい。

協会20年の歩み

年度	実施事業
1990年度 (H2)	<ul style="list-style-type: none"> ●財団法人高知県国際交流協会設立(11月1日) ●協会設立記念式典の開催 ●経済開発フォーラムの開催 ●「世界青年の船」事業参加外国青年の受入 ●英語版高知県生活情報誌の発行(Hands on Kochi) ●協会紹介パンフレットの作成
1991年度 (H3)	<ul style="list-style-type: none"> ●機関誌「しばてん」の発行(～1993) ●「21世紀のための友情計画」マレーシア青年の受入 ●日本語講座の開催(～現在) ●中国の地域づくりリーダーの受入 ●こうち国際交流フェア開催(～1998) ●「青年国際交流会in大月」開催(1996に共催) ●海外県人会活動の支援(～現在) ●高知県海外技術研修員受入事業(～現在) ●高知県移住者子弟研修員受入事業(～1997) ●高知県中南米留学生受入事業(1991,2000～2002) ●ホストファミリー登録制度(～現在) ●高知県在住外国人による日本語弁論大会(～1997)
1992年度 (H4)	<ul style="list-style-type: none"> ●「21世紀のための友情計画」フィリピン青年の受入
1993年度 (H5)	<ul style="list-style-type: none"> ●「韓国教育訪日研修団」地方プログラム受入 ●KIA英語合宿開催(～1998) ●高知県国際交流団体一覧発行(93、95、97、99発行)
1994年度 (H6)	<ul style="list-style-type: none"> ●民間国際交流団体連絡協議会(～現在) ●英文国際交流情報誌「インフォ高知」発行(～1995) ●高知県安徽省友好交流委員会事務局を担当(～現在) ●異文化理解講座開催(～現在) ●機関誌「WINDOW」の発行(～現在)
1995年度 (H7)	<ul style="list-style-type: none"> ●「21世紀のための友情計画」ラオス青年の受入(～1999) ●「高知ラオス友好の小学校ワークキャンプ」派遣 ●インダストリアルバスツアー(～1996) ●国際ボランティア(語学)登録制度(～現在) (文化紹介)(～2009) (事業協力)(～2008)
1996年度 (H8)	<ul style="list-style-type: none"> ●「高知ラオス友好訪問団」派遣(～1999) ●Rolling Rock High School(～1997)

年度	実施事業
1997年度 (H9)	<ul style="list-style-type: none"> ●「土佐っ子モンゴル応援隊」派遣(～1999) ●国際協力セミナー開催 ●安徽省物産展訪日団の受入(高知県安徽省友好交流委員会と共催) ●高知県ベンゲット州姉妹交流推進会議事務局を担当(～現在) ●国際ボランティア(里親)登録制度(～2002) (土佐ふるさとペアレント事業)
1998年度 (H10)	<ul style="list-style-type: none"> ●国際メッセージ開催(～2004) ●KIAバスツアー開催(～1999) ●国際市民講座開催(～2004) ●こじゃんとふれあい事業 ●高知県韓国友好交流事業実施(～1999) ●異文化出前講座(～現在) ●KIAホームページ開設(～現在) ●留学生の家族のための日本語講座の開催(～2003)
1999年度 (H11)	<ul style="list-style-type: none"> ●国際協力パネル写真展開催(～現在) (10月6日の国際協力の日を記念して) ●こうちくらぶ県内ネットワーク事業(～2000) ●中国四国地区地域国際化協会連絡協議会開催(1991,2009) ●在住外国人人権・生活相談窓口の設置(～現在) ●民間国際交流協力事業補助金助成事業実施(～現在) ●よさこい交流事業(～2001) ●日本文化講座の開催(～2005)
2000年度 (H12)	<ul style="list-style-type: none"> ●高知タイ・スタディーツアー事業 ●韓国光州友好訪問団受入事業(～2006) ●「国際土佐人のルーツを訪ねてハワイツアー」派遣 ●「子どもアジア文化体験事業韓国訪問団」派遣(～2006) 2003,2005派遣なし ●国際交流シンポジウム開催(10周年記念事業)
2001年度 (H13)	<ul style="list-style-type: none"> ●インドシナ・スタディーツアー事業(～2002) ●韓国大学生訪日研修団の受入(2001,2004,2005)

年表で振り返るKIAの20年!



年度	実施事業
2002年度 (H14)	<ul style="list-style-type: none"> ●国際協力キャンペーン事業(～2004) ●国際研修講師派遣事業(～2003)
2003年度 (H15)	<ul style="list-style-type: none"> ●韓国教員訪日研修団の受入
2004年度 (H16)	<ul style="list-style-type: none"> ●中国新発見スタディーツアー事業 ●民間国際交流・協力ボランティア・リーダー育成セミナーの開催(～現在) ●国際ボランティアバンク研修 ●日本語ボランティア講師養成講座開催事業(～現在) ●地域日本語ボランティア研修事業(AJALT共催)
2005年度 (H17)	<ul style="list-style-type: none"> ●国際ふれあい広場開催事業(～現在) ●ジュニア国際大学開催事業(～現在) ●企業団体研修等講師実施事業(～2007) ●高知県協力交流研修員受入事業(～現在) ●草の根技術協力員受入事業(～2006) ●JICA留学生セミナー事業 ●在住外国人のための生活情報冊子「Tosa Wave」発行事業(～現在)
2006年度 (H18)	<ul style="list-style-type: none"> ●土佐っ子海外協力隊inラオス事業 ●KOCHI NGO・国際NPOダイレクトリリー作成事業(～2009)

年度	実施事業
2007年度 (H19)	<ul style="list-style-type: none"> ●国際ボランティア入門講座開催事業(～現在) ●韓国青少年訪問団受入支援事業 ●在住外国人への防災・災害情報提供システム構築事業 6ヶ国語による南海大地震に備えてのパンフレットの発行・配布 6ヶ国語によるHPでの防災情報の提供 災害時語学サポーター養成講座の開催(～現在) ●メールマガジン配信事業(～現在)
2008年度 (H20)	<ul style="list-style-type: none"> ●学生インターンシップ受入事業(～現在) ●在住外国人への防災・災害情報提供システム構築事業 在住外国人対象の防災訓練の実施(～現在) 折りたたみ式災害用携帯カート[®]の発行 FM高知との災害時語学サポーター派遣協定 FM高知での災害情報の放送訓練 ●KIA携帯サイト開設(～現在)
2009年度 (H21)	<ul style="list-style-type: none"> ●アジア語学講座(ベトナム語)開催事業 ●在住外国人への防災・災害情報提供システム構築事業 6ヶ国語版応急手当マニュアルの発行 やさしい日本語による南海地震啓発パンフレットの発行 ●国際観光ボランティアガイド養成講座開催事業(～現在) ●JICA日系研修員受入事業
2010年度 (H22)	<ul style="list-style-type: none"> ●20周年記念事業 ●公益財団法人へ移行 (公益財団法人 高知県国際交流協会に名称変更) ●アジア語学講座(フィリピン語)開催事業 ●高知城観光案内リーフレット(中国語版)発行 ●外国人サポート通訳養成講座開催事業

国際交流・協力推進事業

県民の国際交流・協力また異文化への理解と関心を高め、活動参加へのきっかけづくりとして国際交流イベントや異文化理解のための講座等を行ってきました。



こうち国際交流フェア(1991~1998)



2010年国際ふれあい広場(ひろめ市場)での様子



高知県在住外国人による日本語弁論大会
(1991~1997)



国際メッセージ(1998~2004)



昨年度の受賞者

中学生による弁論大会(2009~現在)

設立当初は外国人による弁論大会から始まり、現在は中学生が国際貢献・交流などの意見を発表する大会へと変化した。

(財)高知県国際交流協会設立

協会設立記念式典

経済開発フォーラムの開催

「青年国際交流in大月」(1996に共催事業)

高知県在住外国人による日本語弁論大会

こうち国際交流フェア開催

KIA英語合宿開催

異文化理解講座開催

インダストリアルバスツアー

Rolling Rock High School

国際協力セミナー開催

KIAバスツアー開催

国際メッセージ開催

異文化出前講座

よさこい交流事業

日本文化講座の開催

国際協力パネル写真展開催

国際交流シンポジウム(10周年記念事業)

国際協力キャンペーン事業

中学・高校生による弁論大会(国際ふれあい広場)

ジュニア国際大学

国際ふれあい広場

中学生による弁論大会(国際ふれあい広場)

1990(H2)

1990(H2)

1990(H2)

1991~1996(H3~H8)

1991~1997(H3~H9)

1991~1998(H3~H10)

1993~1998(H5~H10)

1994~現在(H6~現在)

1995~1996(H7~H8)

1996~1997(H8~H9)

1997(H9)

1998~1999(H10~H11)

1998~2004(H10~H16)

1998~現在(H10~現在)

1999~2001(H11~H13)

1999~2005(H11~H17)

1999~現在(H11~現在)

2000(H12)

2002~2004(H14~H16)

2005~2008(H17~H20)

2005~現在(H17~現在)

2005~現在(H17~現在)

2009~現在(H21~現在)



韓国講座の様子



オーストラリア講座の様子

異文化理解講座 (1994～現在)
 異文化出前講座 (1998～現在)
 高知県国際交流員や留学生を講師とし、県民の異文化への理解を深めた。



日本文化講座の開催 (1999～2005)
 在住外国人に日本に対する理解を深めてもらい、地域の国際化を促進した。



KIA英語合宿 (1993～1998)
 英語だけで生活し、外国の生活習慣や文化を直接体験することで、実践的な英語力と国際感覚を身に付けた。

受入事業

外国青少年と県内青年の交流事業を行い、青少年の国際感覚を養うとともに、中南米や友好姉妹都市等からの研修員の受入事業では、母国発展の担い手を育成しました。



「21世紀のための友情計画」マレーシア青年の受入(1991)



「21世紀のための友情計画」ラオス青年の受入(1995~1999)

東南アジア青年を受け入れ、日本人青年との交流や技術研修によって自国の発展に寄与した。

高知県海外技術研修員受入事業(1991~現在)
高知県協力交流研修員受入事業(2005~現在)
高知県受託事業として中南米、友好姉妹都市等からの研修員を受け入れ、自国での技術発展に寄与した。

平成22年度高知県海外技術研修員



ブラジル研修員(後列中央)(機械工学)



アルゼンチン研修員(花卉栽培)



パラグアイ研修員(自動車整備)



韓国光州友好訪問団受入
(2000~2006)

韓国光州市の教育関係者と高校生を受け入れ、ホームステイや学校訪問等を通し、日韓教育交流を促進した。

「世界青年の船」事業参加外国青年の受入	1990(H2)
「21世紀のための友情計画」マレーシア青年の受入	1991(H3)
中国の地域づくりリーダーの受入	1991(H3)
「21世紀のための友情計画」フィリピン青年の受入	1992(H4)
「韓国教育訪日研修団」地方プログラム受入	1993(H5)
「21世紀のための友情計画」ラオス青年の受入	1995~1999(H7~H11)
安徽省物産展訪日団の受入	1997(H9)
韓国光州友好訪問団受入事業	2000~2006(H12~H18)
韓国大学生訪日研修団受入事業	2001,2004,2005 (H13,H16,H17)
韓国教員訪日研修団の受入	2003(H15)
韓国青少年訪問団の受入支援	2007(H19)
研修員等受入事業	
高知県海外技術研修員受入事業	1991~現在(H3~現在)
高知県移住者子弟研修員受入事業	1991~1997(H3~H9)
高知県中南米留学生受入事業	1991,2000~2002 (H3,H12~H14)
高知県協力交流研修員受入事業	2005~現在(H17~現在)
草の根技術協力員受入事業	2005~2006(H17~H18)
JICA留学生セミナー事業	2005(H17)
JICA系研修員受入事業	2009(H21)

派遣事業

「高知ラオス友好の 小学校ワークキャンプ」派遣 (1995)

青少年を現地へ派遣することで民間国際交流・協力を推進した。



高知タイ・スタディーツアー(2000)
インドシナ・スタディーツアー(2001~2002)
タイ・ラオスでの国際協力活動の現場視察や
学習を通して国際協力に対する理解を深めた。



「子どもアジア文化体験事業韓国訪問団」
派遣(2000~2006)



土佐っ子海外協力隊inラオス(2006)
県内の中学生をラオス人民共和国に派遣し、
草の根による国際協力活動を通じて将来
の“地球市民”の育成に取り組んだ。

高知県韓国友好交流事業 (1998~1999)

県内中・高生を派遣し、隣国韓国への理解を
深め国際社会にふさわしい人材育成を図った。



ホームステイ家族との対面式



韓国民俗村視察

「土佐っ子モンゴル応援隊」 派遣(1997~1999)



モンゴルで初めての大運動会実施

「高知ラオス友好の小学校ワークキャンプ」派遣

1995(H7)

「高知ラオス友好訪問団」派遣

1996~1999(H8~H11)

「土佐っ子モンゴル応援隊」派遣

1997~1999(H9~H11)

高知県韓国友好交流事業

1998~1999(H10~H11)

「子どもアジア文化体験事業韓国訪問団」派遣
(2003,2005(H15,H17)派遣なし)

2000~2006(H12~H18)

高知タイ・スタディーツアー事業

2000(H12)

「国際土佐人のルーツを訪ねてハワイツアー」派遣

2000(H12)

インドシナ・スタディーツアー事業

2001~2002(H13~H14)

中国新発見スタディーツアー事業

2004(H16)

土佐っ子海外協力隊inラオス

2006(H18)

情報提供事業

協会事業の紹介、国際協力・交流に関する情報を提供するとともに、在住外国人に対して英語やその他の言語により生活情報、日本文化を紹介しました。



機関誌「しばてん」発行(1991～1993)



機関誌「WINDOW」発行(1994～現在)



在住外国人のための生活情報冊子
「Tosa Wave」発行(2005～現在)

県内在住外国人が安心して、快適に暮らせるよう高知の文化、歴史、生活等に関する情報を提供するため、2ヶ月に1回発行している。

メールマガジン配信(2007～現在)

現在登録者数:210人(2011年1月末現在)

英語版高知県生活情報誌の発行(Hands On Kochi)	1990(H2)
協会紹介パンフレットの作成	1990(H2)
機関誌「しばてん」の発行	1991～1993(H3～H5)
高知県国際交流団体一覧発行	1993,95,97,99(H5,H7,H9,H11)
英文国際交流情報誌「インフォ高知」発行	1994～1995(H6～H7)
機関誌「WINDOW」の発行	1994～現在(H6～現在)
KIAホームページ開設	1998～現在(H10～現在)
在住外国人のための生活情報冊子「Tosa Wave」発行	2005～現在(H17～現在)
KOCHI NGO・国際NPOダイレクトリー作成事業	2006～2009(H18～H21)
メールマガジン配信事業	2007～現在(H19～現在)
KIA携帯サイト開設	2008～現在(H20～現在)

ボランティア育成・登録事業

協会の活動は多くのボランティアの方々に支えられています。また観光、語学、災害等に対応できるボランティアの育成にも取り組んでいます。

お箸も上手に使っています!



ホストファミリー登録制度(1991～現在)
イギリスから来たアンディーさんとホストファミリーの吉岡栄作さんご一家(2010年9月)

吉岡ファミリーとブルーベリー狩り



国際ボランティア入門講座開催(2007～現在)



国際観光ボランティアガイド養成講座(2009～現在)



FM高知での災害情報の放送訓練

ホストファミリー登録制度	1991～現在 (H3～現在)
国際ボランティア登録制度(語学)	1995～現在 (H7～現在)
〃 (事業協力)	1995～2008 (H7～H20)
〃 (文化紹介)	1995～2009 (H7～H21)
国際ボランティア(里親)登録制度(土佐ふるさとペアレント事業)	1997～2002 (H9～H14)
国際ボランティアバンク研修	2004 (H16)
日本語ボランティア講師登録制度	2004～現在 (H16～現在)
国際ボランティア入門講座開催事業	2007～現在 (H19～現在)
災害時語学サポーター登録制度	2007～現在 (H19～現在)
国際観光ボランティアガイド養成講座開催事業	2009～現在 (H21～現在)

多文化共生事業

在住外国人の数が年々増え、多文化共生を考える必要性が増えています。
外国人の社会参加を促し、日本人と外国人が同じ地域の構成員として対等な関係を築ける住み
よい社会を目指して取り組みを行っております。

日本語講座の開催 (1991～現在)

当協会の日本語講座(初級Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、漢字クラス)は外国人の方が地域に溶け込み、心地よく暮らしていけるよう、生活に必要な日本語力をつけてもらうことを目指しています。2009年度まで延べ645名の受講者があり生徒さんからは家族や近所の人とコミュニケーションが取りやすくなった等感想をいただいています。



日本語講座の様子

日本語ボランティア講師養成講座



日本語ボランティア研修の様子

外国人の居住地が県下全域に広がってきているなか、日本語を教える機関や学ぶチャンス等に恵まれず、日本語を理解できないまま生活している外国人が増加しています。

当協会では、こうした外国人に対して日常生活を快適に過ごすために必要な基礎的な日本語を指導できる語学ボランティアを養成するため、平成16年度から「日本語ボランティア講師養成講座」を開催しています。

受講を希望される方の増加に対応するため、平成19年度からは高知市だけでなく県下市町村でも開催するようになりました。

また受講された方のレベル向上を図るために平成17年度からはスキルアップコースを、平成18年度からは日本語ボランティア研修を開始しました。

平成23年1月現在、受講者総数(延べ)は499名、また約220名の方には当協会日本語ボランティアとして登録していただいております。

日本語ボランティア講師養成講座受講実績

単位：人

	H16		H17		H18		H19		H20		H21		H22		合計
	前期	後期	1回	1回	高知	安芸	高知	幡多	高知	幡多	高知	幡多			
初級コース	14	15	15	15	14	15	15	22	21	18	40	29	233		
スキルアップコース			22	17	12		13		15		15		94		
日本語ボランティア研修				34	43		40		24		31		172		
合計	29		37	66	84		90		78		115		499		

外国人も南海地震に備えちよき👌

～在住外国人のための防災・災害情報提供システム構築事業～

高知県には2010年12月末現在で3541人の外国籍住民が暮らしています。外国籍住民は「災害時要援護者」(高知県南海地震条例)として、「災害が発生したときに特別な援護を必要とするもの」(同条例)とされており、言葉の壁などから一般の日本人住民よりも被災者になるリスクが大きく、「災害弱者」とも言われています。

こうした在住外国人にも南海地震に備えてもらおうと、当協会では平成19年度から本格的に次に挙げる6つの事業を実施してきました(カッコ内は実施年度)。

- ① 南海地震に備えるための6ヶ国語版パンフレットの発行・HPの作成 (H19)
- ② やさしい日本語版の南海地震啓発パンフレットの発行 (H21)
- ③ 6ヶ国語版折りたたみ式災害用携帯カードの発行 (H20～H21)
- ④ 6カ国語版の応急手当マニュアルの発行 (H21)
- ⑤ 災害時語学サポーター養成講座の開催 (H19～H22)
- ⑥ 在住外国人対象の防災訓練の実施 (H20～H22)



防災訓練(南門市消防本部)

これらの施策を実施するにあたって常に念頭に置いてきたことは、事業の受益者となる在住外国人の特性を押さえることと予防対策(減災対策)に力を入れることでした。

まず、在住外国人には一般の日本人住民とは異なる3つの壁(これらの壁が存在するがゆえに被災者になるリスクが大きくなる)があるとされます。それは「言葉」「制度」「文化」です。

「言葉」については特に、災害時によく使用される言葉、いわゆる「災害用語」の「やさしい日本語」化に着目しました。高知県には60カ国ほどの外国籍の方が住んでいます、そうした方すべての国々の言葉で各種事業を実施するのは事実上困難です。6ヶ国語版の啓発パンフレットの他に「やさしい日本語」版を作成したのはこのためです。

「制度」については、災害時特有の各種制度に馴染みのない在住外国人にも理解してもらうため、「応急危険度判定」や「罹災証明」など、災害時の生命保持・生活維持に関わる重要制度についての説明を多言語パンフレットの中で行いました。

「文化」については、災害時においては「防災文化」と呼ばれる、普段の生活の中での災害への備えの文化が一般に外国人住民にはなく、例えば、海岸付近で揺れを感じても高台に逃げないなど、適切な行動を取れず命を落としてしまうことが考えられるため、防災文化の醸成を目的に防災訓練の実施や訓練で使用する応急手当マニュアルの翻訳を試みました。

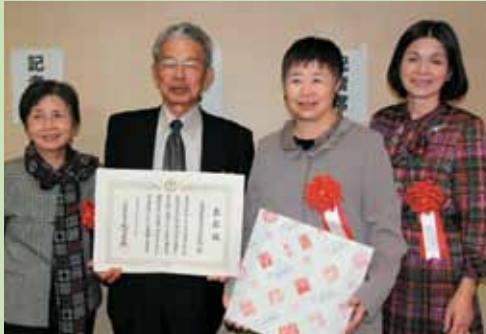
また、予防対策(減災対策)については、阪神・淡路大震災(平成7年)における死傷原因の約8割が家屋の倒壊や家具の下敷きによるものだったことを教訓とし、多言語啓発パンフレットにおいても家屋の耐震化、家具の固定・配置の翻訳に取り組みました。

県内における在住外国人のための南海地震対策は、当協会がこれを開始した平成19年度当時に比べて飛躍的に向上しましたが、これらの事業を通じて発行された多言語印刷物などを利用し、今後は市町村又は自主防災組織単位で在住外国人を巻き込んだ防災活動への取り組みに着手する時期に来ていると思います。当協会としては、こうした地域レベルでの取り組みを応援する体制を整えたいと思っています。

多文化共生事業

日本語講座の開催	1991～現在 (H3～現在)
在住外国人人権・生活相談窓口の設置	1999～現在 (H11～現在)
日本語ボランティア講師養成講座開催	2004～現在 (H16～現在)
地域日本語ボランティア研修事業(AJALT共催)	2004 (H16)
在住外国人への防災・災害情報提供システム構築事業	2007～現在 (H19～現在)
6ヶ国語による南海大地震に備えてのパンフレットの発行・配布	2007 (H19)
6ヶ国語によるHPでの防災情報の提供(～現在)	
災害時語学サポーター養成講座の開催(高知市)(～現在)	
在住外国人対象の防災訓練の実施(～現在)	2008 (H20)
折りたたみ式災害用携帯カードの発行	
FM高知との災害時語学サポーター派遣協定	
FM高知での災害情報の放送訓練	
6ヶ国語版応急手当マニュアルの発行	2009 (H21)
やさしい日本語による南海地震啓発パンフレットの発行	
災害時語学サポーター養成講座開催(幡多地区)	2010 (H22)

南国市国際交流協会が 高知県文化環境功労賞を受賞



南国市国際交流協会が第15回高知県文化環境功労賞を受賞されました。

平成22年11月19日、高知県庁第二応接室で、大崎県文化生活部長から表彰状が授与されました。

※受賞理由

同会は発足当初から、地域住民と外国人の方々との交流を通じた異文化理解の推進に努めるとともに、外国人への日本語の指導、日本語指導のできるボランティアの養成を行うなど、外国人が安心、安全に暮らせる地域づくりに尽力した。また、外国人留学生と地域住民との交流に尽力し、日本文化の体験やホームステイ・ビジットのコーディネートといった、外国人と地域住民の相互理解を深める場を提供するなど、本県の国際交流に寄与した。

民間国際交流団体紹介



大豊ゆとりすとパークにて

「高知県フラ協会」 代表 ルアナ中川

アロハ ルアナ フラを愛好する仲間たちで2000年に50名ほどのメンバーによって設立され、現在は会員数が500人を超えました。

ハワイの文化の一つである「フラ」を正しく理解し、その精神を学びながら南国情緒豊かな音楽と共に踊ることによってお互いの親睦を深め、健康で文化的な生活づくりをし、更にボランティア活動にも進んで参加しようと活動しています。

年に2回、大きな大会を開催し、春は「アロハ花まつり」そして秋は「トロピカルアロハフェスタ」と称し、総会、バザー、フラのワークショップ、レイ作り、そして「ハワイ語」の学習、ハワイの植物（これはレイの材料として欠かせない知識）の学習をします。お祭りの中で最も盛り上がるのは会員の大半が集まっての野外での総踊りです。これまで室戸のイルカ広場、芸西のホテルの芝生広場、アンパンマンミュージアム前の広場、葉山のかわうそ広場、須崎のドラゴン広場、四万十の浜の芝生広場、大豊の「ゆとりすとパーク」、昨年秋はタイムリーに「ジョンワサテライト」前の広場（しかし季節はずれの台風で近くの土佐清水中学校の体育館を急遽お借りして楽しみました）で行いました。天候に左右されるため野外での公演はハプニングが付き物ですが、フラは自然を大切にすることからやはり外で踊るのが一番似合います。

2011年春は、バザー、またコミュニケーションの専門家をお招きし「笑顔で踊れるようになるには」（仮）と題し学習する予定です。

連絡先：岩田のみ子 tel/fax 088-872-5824

GENKI青年会 土佐弁ミュージカル2011 「ちょうそがべ・キャロル」



昨年の「かんざしファンタジー」の一場面

今年も、あの土佐弁ミュージカルがかえってきます！

今回は戦国時代に四国を制覇した長宗我部元親の人生を、英国文豪ディケンズの「クリスマス・キャロル」の物語にのせて、ドラマチック・コメディに仕上げました。

戦に夢中になるあまり、身内や領地の民を疎かにしてしまった元親。嫡男の反発を受け、さらに土佐の民からも非難される。豊臣秀吉の脅威に直面した元親が戦を起こそうとしたその時、奇妙な3人のゴーストが訪ねてきた。元親の過去、現在、そして未来を目のあたりに見せ、彼と土佐の悲惨な結末を変えようとするゴーストたちだが…元親の運命はいかに！

音楽とギャグが飛び交う土佐弁ミュージカルに、たくさんのご来場をお待ちしております。

ボランティアグループGENKI青年会は、高知県在住の外国人青年を中心として毎年「土佐弁ミュージカル」を上演し、地域の交流と高知の青少年を応援しています。

入場は無料ですが、上演後、募金活動を行います。頂いた募金は、毎年、海外留学を希望する高知県の中高大学生へ助成金として活用いたしますので、どうぞご協力をお願いします。

4月16日(土)	本山町	プラチナセンター	13:00~
	安芸市	市民会館	18:30~
4月17日(日)	室戸市	室戸市保健福祉センターやすらぎ	12:00~
	土佐市	市民会館	18:30~
4月23日(土)	宿毛市	中央公民館	11:00~
	梶原町	ゆすはら座	18:00~
4月24日(日)	高知市	(ミニ公演)高知県教育センター分館体育館	10:00~
	香南市	のいちふれあいセンター	14:00~
	高知市	追手前高校芸術ホール	18:30~

※開演時間は変更される場合があります。

お問い合わせ：スティーブン・ユイン
TEL：088-823-9605 (高知県文化・国際課内)
Email：genkiseinenkai@gmail.com

